

茨城県の地域農業及び農村社会の維持発展のためには、本事業を通して、協議会構成員の就業条件を底上げすることにより、茨城県農業大学校、鯉淵学園農業栄養専門学校、日本農業実践学園等から地域営農法人に将来を担う人材を呼び込みやすい環境を整備する必要がある。
このことから、将来性のある人材の不足という産地として抱えている課題を解決すべく、雇用確保および人材育成の観点を念頭に、協議会会員一丸となって就労条件改善に取り組み、産地全体の更なる地域営農を担う人材確保・育成を図る。

関係機関

茨城県庁農林水産部
茨城県農業大学校

協力機関・連携先等

鯉淵学園農業栄養専門学校
日本農業実践学園

構成員（就労条件改善の取組を実施する生産者）

(株)苅部農園、(有)ナガタフーズ、鈴木農園、あさねぼう
(株)大越青果 トマト耕房のら 本多果樹園
伊佐部マッシュルーム組合 (株)ファームアベタ (有)三国園
ファーム八千代 (株)ひさまつ農園 (株)綿引農園 CSファーム春
水上農園 小堀農園 夢みる農民じっち
(株)レインボーフューチャー 吉田農園 おかの農園

令和 6 年度取組み内容

今年度の取組み内容

ア 働きやすい環境づくり計画の策定・推進

社会保険労務士を交えてヒアリング調査を実施
・ ZOOMにて構成員へ取り組み概要を説明、及び社会保険労務士の紹介・今後のヒアリング調査方法の説明
・ 各人、ZOOM及び訪問にて 2 回ずつヒアリング調査を実施

イ 働きやすい労働環境づくりのための研修等の実施

社会保険労務士を交えオンライン研修を実施（20名中16名参加 不参加4名には別日開催）
就業規則作成キックオフ経営セミナー
就業規則の必要性、メリット（採用のミスマッチ、労務トラブルを防ぐ、経営の方向性）
就業規則の従業員への説明責任
実際に決めておくべき項目（勤務時間、休みのルール、賃金決め方、業務ルールなど）

今年度の取組み内容																		
ウ 就労条件改善等のための取組																		
Ⅰ 労働基準関係 法令への準拠	①	取組あり	②	取組あり	③	取組あり	④	取組なし	⑤	取組なし	⑥	取組なし	▼その他の内容					
	就業規則の新規策定		所定労働時間の設定		休憩又は休日の設定		三六協定締結の設定		時間外割増賃金支給		その他（⇒）							
Ⅱ 各種保険制度 への準拠	①	取組あり	②	取組あり	③	取組なし	④	取組なし	⑤	取組なし	▼その他の内容							
	労災保険の加入		雇用保険の加入		健康保険の加入		厚生年金保険の加入		その他（⇒）									
Ⅲ その他の 就労条件改善	①	取組なし	②	取組なし	③	取組なし	④	取組なし	⑤	取組なし	⑥	取組なし	⑦	取組なし	⑧	取組あり	⑨	取組なし
	給与等支給額を 前年度比増		地域別最低賃金より 5 % 以上の上乗せ		定期昇給制度の設定		給与テーブルの作成		能力と給与を連動 させる仕組みの構築		役職手当の設定		特別手当の設定 例：地域貢献手当		育児休暇の設定		介護休業の設定	
⑩	取組なし	⑪	取組あり	▼⑫	取組なし	⑬	取組なし	⑭	取組なし	⑮	取組なし	⑯	取組なし	⑰	取組なし	⑱	取組なし	▼その他の内容
保育環境の整備	労働安全教育の実施		人事評価制度の設定		資格取得を促進する 制度の導入		スキルアップに資す る目標・計画の策定		若年・女性労働者の 新規就農や定着		外国人特有の事情に 配慮した就労環境		農業に係る労使関係 相談・仲介体制整備		その他（⇒）			

▼Ⅰ 労働基準関係法令への準拠 ①就業規則の新規策定 ②所定労働時間の設定 ③休憩または休日の設定

▼Ⅱ 各種保険制度への準拠 ①労災保険の加入 ②雇用保険の加入

▼Ⅲ その他の就労条件改善 ⑧育児休暇の設定

・ 社会保険労務士にて対象者へ実施及び確認

▼Ⅲ その他の就労条件改善 ⑪労働安全教育の実施

・ 協議会で労働関係法令の研修会を実施。

エ 就労改善条件等を具体的な労働力確保に繋げるための取組の実施

構成員其々にLP制作

⇒ 企業概要・就労条件改善の取り組み・求人情報などを発信。また、構成員のLPをまとめたサイト制作も同時に行い幅広く発信

構成員其々に求人募集のための企業パンフレット制作

⇒ 今後連携先へ配布：茨城県庁農林水産部、茨城県農業大学校、鯉淵学園農業栄養専門学校、日本農業実践学校等
各々が出展する場での活用

本事業取組みにおける成果項目

構成員の意識改革、認識不足の解消につながった。
既に就業規則がある者も活用ができていなかったり、
内容が古く現状と乖離している部分もあり修正できた。

茨城県庁農林水産部、茨城県農業大学校、鯉淵学園農業
栄養専門学校、日本農業実践学校と構成員との繋が
りが出来たのも大きい。

次年度以降の取組み内容

茨城県農業大学校、鯉淵学園農業栄養専門学校、日本
農業実践学校との連携として、授業の一貫である生徒
の生産現場での研修を構成員のところでを行い卒業後の
就農へつなげていく。
構成員による特別講義も行っていく予定。

各学校での入学募集の際に構成員との取り組みをPRし
て入学者数を増やしていく取り組み。
その際にLP紹介、パンフレット配布を行う。

茨城県庁農林水産部と連携して就農マッチングを開催
できるよう動いていく